

# I 令和6(2024)年度県農政の基本方針と重要施策等

## 1 県農政の基本方針

農業を取り巻く情勢は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類に移行し経済活動が活発化する一方、担い手の減少や気候変動に伴う異常気象のほか、国際情勢の不安定化に伴う物価高騰や食料安定供給への懸念、デジタル化の一層の進展や物流2024年問題の影響など大きく変化している。

こうした中、本県農業を力強い成長産業として持続的に発展させていくため、「とちぎ農業未来創生プラン」に基づき、3つの重点戦略を柱に各種施策を展開するとともに、新たな課題にも的確に対応していく。

具体的には、将来の本県農業を担う人材の確保・育成をはじめ、収益性の高い園芸作物の生産拡大・物流の効率化や需要に応じた米づくりを進めるとともに、物価高騰に対応した自給飼料の増産や耕畜連携の取組を推進していく。

また、県産農産物のブランド力を高めるため、県オリジナル品種の特長を生かしたプロモーションを県内外で展開するとともに、更なる輸出拡大を図るため、輸出先国に応じた販路の開拓や拡大を推進していく。

加えて、インバウンド需要回復を捉えた農村地域の活性化や、農業DX・スマート農業、「とちぎグリーン農業」の推進を図るとともに、豚熱等の特定家畜伝染病などにも着実に対応していく。

### ○ 「とちぎ農業未来創生プラン」の重点戦略

#### 【戦略1】明日へつなぐ

意欲的な若者をはじめとする多様な人材が活躍し、本県農業を力強く支え、明日へつながる農業を展開する。

#### 【戦略2】強みを伸ばす

大消費地に近く、広大な水田と高い生産技術などの本県の強みを最大限に生かし、成長産業としての農業の更なる発展を図る。

#### 【戦略3】呼び込み・拓く

新しい人の流れの創出による農村地域の活性化と安全・安心で住みよい農村づくりを進める。

## プランの趣旨

「とちぎ農業未来創生プラン」は、10年後(令和12(2030)年)を展望した本県農政の基本指針であり、農業・農村振興の基本的な方向性とその実現に向けた重点的な取組を明らかにしています。

この計画に基づき、農業者をはじめ、市町、農業団体等と連携・協力しながら、それぞれの役割分担のもと、本県農業・農村を振興していきます。

## 期間

このプランは、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間で計画期間とします。

## プランの基本構成

### I 農業・農村をめぐる情勢

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| 1 本県農業・農村の現状と課題 | 2 時代の潮流 |
| 3 全国における本県農業の位置 | 4 農業の価値 |

### II 本県農業・農村の将来像

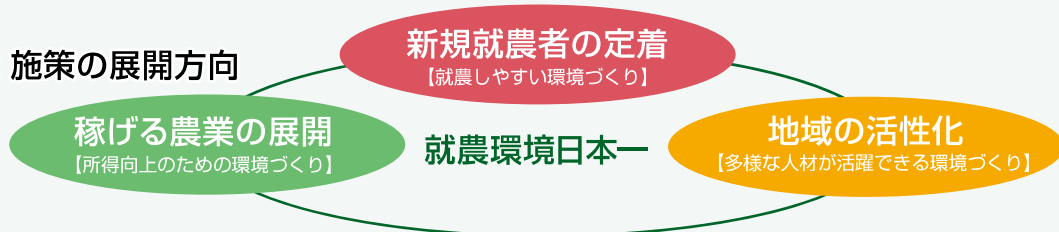
本県農業・農村の潜在力を最大限に生かした稼げる農業が展開され、子どもたちが夢を抱き、人々が集い、未来につながる農業・農村が実現

### III 農政の基本方針

#### 1 基本目標

『成長産業として持続的に発展する農業・栃木』

#### 2 施策の展開方向



#### 3 基本施策

〈人材の確保・育成〉 〈生産力の向上〉 〈販売・PR力の強化〉  
〈消費拡大・安全対策の強化〉 〈農業生産環境の向上〉 〈農村の振興〉

### IV 重点戦略

#### 戦略1 明日へつなぐ

- (1) 地域農業を持続的に支える仕組みづくり
- (2) 意欲ある人材の参入促進

#### 戦略2 強みを伸ばす

- (1) 新たな施設園芸の展開
- (2) 稼げる水田農業の実現
- (3) 栃木の畜産力強化に向けた展開
- (4) “選ばれる栃木の農産物”の実現
- (5) 次代を見据えた研究開発の推進

#### 戦略3 呼び込み・拓く

- (1) 新しい人の流れの創出による農村地域の活性化
- (2) 安全・安心な栃木の農村づくり

### V 地域計画

#### 河内地域

宇都宮市・上三川町

#### 上都賀地域

鹿沼市・日光市

#### 芳賀地域

真岡市・益子町・茂木町  
市貝町・芳賀町

#### 下都賀地域

栃木市・小山町・下野市  
壬生町・野木町

#### 塩谷南那須地域

矢板市・さくら市

那須烏山市・塩谷町

高根沢町・那珂川町

#### 那須地域

大田原市・那須塩原市  
那須町

#### 安足地域

足利市・佐野市

○「とちぎ農業未来創生プラン」における施策の展開



## 2 重点戦略

### 【戦略1】明日へつなぐ

#### (1) 地域農業を持続的に支える仕組みづくり

高齢化などにより農家が減少する中、地域農業を持続的に支えていくため、担い手への一層の農地集積や、広域的に営農を展開する法人等の新たな担い手の育成を進めるとともに、地域住民をはじめ地域の力を結集した農業の仕組みづくりを進める。

- ・とちぎ広域営農システム構築事業費 14,750 千円 (経営技術課)
- ・地域計画策定推進緊急対策事業費 65,687 〃 (生産振興課)

#### (2) 意欲ある人材の参入促進

産地が主体となって新規参入者を受け入れる新たな体制づくりを進めるとともに、農業を学ぶ機会の充実を図り、栃木で農業に取り組む多様な人材の確保・育成を進める。

- ・農業で働く人材確保・定着支援総合対策事業費 27,035 千円 (経営技術課)
- ・意欲ある新規就農者の確保育成事業費 58,102 〃 ( 〃 )
- ・農業人材力育成総合対策事業費 704,229 〃 ( 〃 )
- ・次世代デジタル農業教育推進事業費 5,000 〃 ( 〃 )
- ・担い手経営力強化キャリアアップ支援事業費【新規】 6,904 〃 ( 〃 )

### 【戦略2】強みを伸ばす

#### (1) 新たな施設園芸の展開

A Iを活用した生産システムや本県オリジナルの高収益生産モデルの開発・普及に取り組み、施設園芸の収量や品質の飛躍的な向上を図る。

- ・「いちご王国・栃木」戦略推進事業費【一部新規】 131,906 千円 (生産振興課)
- ・園芸大国とちぎ推進事業費【一部新規】 115,296 〃 ( 〃 )
- ・競争力強化生産総合対策費(いちご・施設園芸分) 461,774 〃 ( 〃 )

#### (2) 稼げる水田農業の実現

水田を活用した競争力の高い大規模園芸産地の育成を進めるとともに、先端技術の導入や団地化を進め、省力的で効率的な稲・麦・大豆の生産体制を確立する。

- ・マーケットインの新たな米チャレンジ事業費 4,531 千円 (経営技術課)
- ・栃木の米づくりプロジェクト推進事業費【一部新規】 156,978 〃  
(生産振興課・農地整備課)
- ・土地利用型園芸スケールアップ事業費 107,997 〃 (生産振興課)
- ・競争力強化生産総合対策費(露地野菜分) 120,000 〃 ( 〃 )
- ・作付転換拡大緊急対策支援事業費 30,282 〃 ( 〃 )
- ・競争力強化生産総合対策費(稲麦大豆分) 1,060,050 〃 ( 〃 )

#### (3) 栃木の畜産力強化に向けた展開

本県畜産の産出額拡大を目指し、担い手の確保と経営形態の多様化を図るとともに、A I・I o Tの活用や家畜の伝染性疾病対策等の推進による生産性やブランド力の向上に取り組み、経営力及び生産・販売力を高める。

- ・持続的畜産経営推進事業費【一部新規】 17,757 千円 (畜産振興課)
- ・畜産情報活用推進事業費【一部新規】 2,928 〃 ( 〃 )
- ・特定家畜伝染病対策事業費【一部新規】 368,474 〃 ( 〃 )
- ・体外受精卵活用酪農肥育経営基盤強化事業費【新規】 4,779 〃 ( 〃 )

#### (4) “選ばれる栃木の農産物”の実現

「いちご王国・栃木」を最大限に生かしてブランド発信力を強化するとともに、オリジナル品種のブランド価値の深化を図り、国内外で「選ばれる栃木の農産物」の実現を目指す。

- ・「いちご王国・栃木」定着促進事業費【一部新規】 31,480 千円 (経済流通課)
- ・とちぎ農産物戦略的輸出拡大事業費  
【一部新規】 <一部再掲> 110,688 〃  
(経済流通課・生産振興課)
- ・とちあいか知名度向上対策事業費【新規】 <再掲> 11,000 〃 (生産振興課)

#### (5) 次代を見据えた研究開発の推進

本県農業の顔となるオリジナル品種や生産性の高い新技術の開発を進めるとともに、気候変動やSDGsなど環境の変化や時代のニーズに適応した農業技術の開発・普及により、本県農業のイノベーションを進める。

- ・未来農業創造研究費 11,982 千円 (農政課)
- ・農業気象災害対応力強化事業費【一部新規】 9,915 〃 (農政課)

### 【戦略3】呼び込み・拓く

#### (1) 新しい人の流れの創出による農村地域の活性化

農村資源を活用した都市住民等の交流人口の拡大、将来的な移住・定住につながる農村ファンの創出・拡大に向けた取組を推進するとともに、農村地域の将来を担う多様な人材の定着を促進し、農村への新しい人の流れの創出による農村地域の活性化を図る。

- ・とちぎの農村稼ぐ力強化事業費【新規】 27,792 千円 (農村振興課)
- ・若者・女性に選ばれる中山間地域農業モデル創出事業費  
【一部新規】 8,320 〃 (〃)
- ・都市農村交流施設活性化支援事業費【一部新規】 9,797 〃 (〃)
- ・農村ファンと地域をつなぐ未来創出事業費 10,800 〃 (〃)

#### (2) 安全・安心な栃木の農村づくり

良好な営農条件を備えた農地や農業水利施設の機能を将来にわたって発揮していくため、農村地域の防災・減災力の強化を図るとともに、安全性に配慮した人にやさしい基盤の整備やデジタル技術の導入を推進し、住みよい農村環境づくりを進める。

- ・鳥獣から農作物を守る対策事業費 128,983 千円  
(農村振興課・経営技術課)
- ・農村防災力強化事業費 30,612 〃 (農地整備課)
- ・公共事業費 8,696,886 〃  
(農村振興課・畜産振興課・農地整備課)

#### <新たな課題等への対応>

農業を取り巻く新たな情勢変化へ対応するため、スマート農業・農業DXの推進や物流の効率化、「とちぎグリーン農業」の推進に取り組むとともに、食と農業の持続性確保に向け県民への理解醸成を図るほか、物価高騰対策に着実に取り組んでいく。

#### (1) スマート農業・農業DXの推進

- ・とちぎの農業DX実践事業費【新規】 15,593 千円 (農政課)
- ・AIいちご生産イノベーションモデル創出事業費<再掲> 50,500 〃 (生産振興課)

#### (2) 物流の2024年問題対策

- ・とちぎの園芸物流強化プロジェクト事業費【新規】 10,582 千円 (経済流通課)

#### (3) とちぎグリーン農業の推進

- ・とちぎグリーン農業推進事業費【一部新規】 217,007 千円 (経営技術課)

#### (4) 食と農業への理解促進

- ・食と農業とちぎアクションプロジェクト事業費【新規】 9,700 千円 (農政課)

#### (5) 物価高騰対策

- ・持続的畜産経営推進事業費【一部新規】 <再掲> 17,757 千円 (畜産振興課)
- ・産地生産基盤パワーアップ事業(繰越分(施設園芸エネルギー転換枠)) 11,000 〃 (生産振興課)

### 3 TPP等対策関連事業

TPP11 や日米貿易協定等の国際協定発効に伴う輸入農産物の増加が本県農業に及ぼす影響を最小限に抑えるため、農業の競争力強化に向けた生産性向上や輸出拡大などを促進する、次の対策を講じる。

#### (1) 令和6(2024)年度予算

##### ① 新たな施設園芸の展開

・「いちご王国・とちぎ」戦略推進事業費【一部新規】	131,906	千円	(生産振興課)
・園芸大国とちぎ推進事業費【一部新規】	115,296	〃	( 〃 )
・競争力強化生産総合対策費 (TPP 等対策関連)	1,741,824	〃	( 〃 )
強い農業づくり総合支援事業費	1,210,090	〃	( 〃 )
産地生産基盤パワーアップ事業費	531,734	〃	( 〃 )

##### ② 稼げる水田農業の実現

・土地利用型園芸スケールアップ事業費	107,997	千円	(生産振興課)
・栃木の米づくりプロジェクト推進事業費【一部新規】	156,978	〃	(生産振興課・農地整備課)
・県単公共事業費	247,420	〃	(農地整備課)
・農業農村整備事業計画調査費	233,847	〃	( 〃 )

##### ③ 栃木の畜産力強化に向けた展開

・畜産競争力強化対策事業費	643,500	千円	(畜産振興課)
・とちぎの畜産ブランド確立推進事業費	6,000	〃	( 〃 )

##### ④ “選ばれる栃木の農産物”の実現

・とちぎの農産物ブランド力強化推進事業費【一部新規】〈一部再掲〉	53,601	千円	(経済流通課)
栃木の農産物ブランド価値深化推進事業費	16,615	〃	( 〃 )
「いちご王国・栃木」定着促進事業費【一部新規】〈再掲〉	31,480	〃	( 〃 )
県産農産物パートナーシップ構築推進事業費	5,506	〃	( 〃 )
・とちぎ農産物戦略的輸出拡大事業費【一部新規】〈一部再掲〉	110,688	〃	(経済流通課・生産振興課)

##### ⑤ 次代を見据えた研究開発の推進

・とちぎの農業DX実践事業費【新規】	15,593	千円	(農政課)
--------------------	--------	----	-------

(2) 令和5(2023)年度補正予算(国経済対策に呼応した繰越予算)

① 稼げる水田農業の実現

・農地整備事業費

1,164,000 千円 (農地整備課)

(3) TPP等対策関連事業予算合計

令和6(2024)年度当初予算 3,564,650 千円

令和5(2023)年度補正予算 1,164,000 〃

合 計 4,728,650 〃

